

第5回 米国救急医による ER セミナー

日時：平成27年6月22日（月）18:00～18:30

場所：高度救命救急センター カンファランス室

テーマ：「**英語でのプレゼンテーションの仕方**」

日比野 誠恵 先生

米国ミネソタ大学ミネソタ大学病院救急医学部准教授

日本の救急医療体制は、1次（軽傷：帰宅可能）、2次（重症：入院が必要）、3次（重篤：高度な医療が必要）救急のように重症度によって受け入れる対応する医療機関が異なります。北米でのER型救急システムとは、ドラマ「ER」で知られているように救急医がすべての種類の患者の初期治療を担当し、必要に応じて各専門医師へ引き継ぎ、入院や手術等の治療は各科に委ねる、という体制で診療が行われます。

日米のシステムには、異なる利点があり、それぞれの歴史を反映しています。日本の救急医療は、重症外傷患者への対応の必要性から発展しましたが、今日では人口の高齢化に伴う救急患者の増加が大きな課題です。今後は米国型ERの良さをとり入れた、「日本型のER」を構築することが必要と考えられます。

そこで、これからのER指導者の養成のため米国の第一線で活躍中の救急医を招いての臨床の指導およびセミナーを今月から、大阪警察病院、多根総合病院、大阪府立急性期・総合医療センターと共に行っています。

今月、皆様にご紹介するのはDr. Hibinoによるセミナーです。研修医、専門医を問わず初期救急診療の技術や知識を身につける絶好の機会です。

この貴重な機会に、多職種の方々のご参加を心からお待ちしております。